

龍谷大学 国際文化学部

国際文化学科 斎藤ゼミ (分野: 国際開発論・国際協力論)

グローバル化による発展途上国の諸問題 その解決可能性を地球規模で探究する

留学・国際交流の環境が整った
文化理解・言語分野の7コース

“国際文化学”という学際的な幅広い学問領域を対象に、文化理解分野と言語分野の2つに区分された7コースを用意。文化理解分野には「国際共生」「芸術・メディア」「地域文化」の3コース、言語分野には「英語教育」「フランス語研究」「中国語研究」「ロシア語研究」の4コースがある。学生は2年次から主専攻、副専攻とするコースをそれぞれ選択、自分の興味・関心のある分野を明確な目的意識を持って学修することになる。

国際文化学部の教員は約40%が外国人で、出身地もアジア、北アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアと、極めて国際色豊かである。海外から多くの留学生も学んでいる。キャンパスにいながら国際交流ができる好環境にある。

留学制度も、長期・短期のプログラムや学部独自の留学企画を設け、交換留学、自己応募留学、単位認定制度など、柔軟なカリキュラムとサポート体制が充実していることも特長だ。

貧困・環境破壊、人口増加など
世界で起きている諸問題を読み解く

地球規模で進むグローバル化により、発展途上国が直面する諸問題はますます多様・複雑化している。例えば、貧困問題はどのように変わりつつあるのか。どんな解決方法が模索されているのか。なぜ貧困問題はなくなるのか。斎藤文彦先生は、国際開発

計画のプログラムオフィサーとして、実際にアジア、アフリカで貧困解消のための支援プロジェクトを構築してきた。「真の国際協力とは、途上国の人びとの力強い生き様に学ぶことでもあり、アジア・アフリカの未来を考えることは、私たちの生活を見直すことにもつながるのです」と斎藤先生。

その経験からより具体的な指導が行われる「国際共生コース」の斎藤ゼミは、定員の3倍近くの学生が押し寄せる人気のゼミだ。ゼミ生は現在20数名。スタディツアー参加者、NPO・NGO活動の体験者、留学経験者など、やる気ある学生たちが選抜されている。

3年次はまず、指定文献を読んで発表、グループで討論やブレインストーミングが行われる。後半は自分のテーマを決めて発表、3年修了時には本物の卒論の半分くらいの長さの“ミニ卒論”を提出し、4年次に研究を深めて卒業論文を仕上げる。「3年次後半の研究活動が重要なのです。ミニ卒論がうまく書ければ、就職活動でプランクがあっても研究は深められる。4年次からでは遅いですね」と斎藤先生。

学外イベントで国際競争力を磨き
卒業後は幅広い活躍分野へ

学生の関心は幅広く、国際協力の考察は政治・経済・社会・文化といった総合的な視点から行われる。「インドの児童労働——教育は児童労働者を救えるか」「環境難民に対する先進諸国の対策——沈みゆくツバルは訴える」「フェアトレードの新しい取り組み——利

国際文化学部 斎藤 文彦 教授

Profile

同志社大学法学部卒業。米国イェール大学大学院国際関係論修士号、龍谷大学経済学博士号。国連開発計画プログラムオフィサーとしてバン格拉ディッシュ事務所、ウガンダ事務所に各2年半就任。著書に『国際開発論』など多数。

益追求と生産者支援の両立をめざして」など、卒業論文のテーマがグローバルなものも斎藤ゼミならではの。

「卒業までに国際開発分野においては、外国の学生に引けを取らない国際競争力を持つこと」に注力する斎藤先生は、学外イベントも多彩に実施。4年次の夏休みには、学生の自主企画で研修旅行を行い、大分県の一村一品運動を知事や村人から学んだり、沖縄のマンゴー植林活動に参加したりしている。他大学とのディベートも恒例になり、これらが高い就職率にもつながっている。開発コンサルタント、貿易、海運、航空、ホテルなどゼミ卒業生の活躍舞台は幅広い。

受験生に対しては「ぜひ新聞を読む習慣をつけてほしい。知らないことは調べてみよう。それが基本!」。斎藤先生からのメッセージだ。



4年次の夏休みに開催する学外イベント。大分県の一村一品運動では多くを学んだ

Student Voice

様々な切り口で
学びをデザインできる
学習環境が魅力です

国際文化学部 国際文化学科 4年
別所 瑠里子さん
大阪府立高津高校卒

世界各国の異なった文化に興味があり、充実した研究環境が整っている龍谷大学の国際文化学部に進学。まず、英語が話せるようにと、2年次のときに7ヵ月間オーストラリアへ語学留学しました。語学の勉強はもちろん、アジア、アラブ、南アメリカの人たちと友達になり、いろいろな問題について話し合えたことは大きな収穫です。

斎藤先生の「国際社会と日本」という授業では、国際支援が本当に当事国にとって効果的

なのかなど、いろいろな視点から考えさせられ、国際協力にも関心が広がりました。競争率の高い斎藤ゼミに思い切って挑戦し、「フェアトレード商品のコーヒー学」を研究テーマに、市場調査なども実施。グループ研究、他大学とのディベートにより、話しベタな私も論理的に話す力が身についたと実感します。経済、教育、語学、政策など、様々な切り口で深く世界を探究できるのがこの国際文化学部の大きな魅力です。

資料請求はこちらから

>>>>

大学案内
0000-00

その他の資料請求方法は000ページをご参照ください。

国際系

歴史・地理系

国際系

歴史・地理系

社会系

社会系

- 学部所在地 : 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5(瀬田キャンパス)
- 問い合わせ先 : 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 入試部 TEL075-645-7887
- 大学URL : <http://www.ryukoku.ac.jp/admission/>